

まちづくり交付金 事後評価シート
松河戸地区

平成20年12月

愛知県春日井市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 愛知県 | | 市町村名 | 春日井市 | | 地区名 | 松河戸地区 | | | 面積 | 66.3ha | | |
|--------------------------------------|--|---|-----------------------------------|--|----------|-------------------------|-------------------------|---|------------------------|----------|--|--|-------------|
| 交付期間 | 平成16年度～平成20年度 | | 事後評価実施時期 | 平成20年度 | | 交付対象事業費 | 975百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 事業名 | | | | | | | | | | | | |
| | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 公園事業(段下公園、堤越公園)、土地区画整理事業(松河戸地区) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | まちづくり活動推進事業(ワークショップ、書による地域交流啓発事業) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 事業名 | | 削除/追加の理由 | | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | |
| | | 提案事業 | なし | 道風記念館駐車場整備:土地区画整理事業の遅れにより用地の確保が困難になったため既存の駐車場で対応 道風記念館交流施設整備事業:地区内に公民館の新設が具体化するともに、道風記念館の整備については収蔵物の充実に向けた取組に転換 | | | | 道風記念館駐車場整備:まちづくり目標には影響はあるが、数値変更はしない 道風記念館交流施設整備事業:まちづくり目標には影響はあるが、数値変更はしない | | | | | |
| 新たに追加した事業 | 基幹事業 | なし | | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成16年度～平成20年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | | | | | | | |
| | 変更 | なし | | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | 指標1 | 道風記念館来館者数 | 人/5年 | 53,679 | H15 | 60,000 | H20 | | 45,759 | × | あり なし | 書に関するイベントの積極的なPRにより道風記念館の認知度が上がるとともに、区画整理事業の進捗による人口増が来館者数の増加に寄与するものと思われたが、期待されたほどの効果は得られなかった。また、記念館周辺で整備が行われたため、来館者数に影響を与えた。 | H21年5月頃 |
| | 指標2 | 新規住宅着工件数 | 戸/5年 | 214 | H15 | 230 | H20 | | 204 | △ | あり なし | 土地区画整理事業や下水道事業の進捗によりある程度の効果が確認されたが、一部にまだ未利用地が散見されるため、期待されたほどの効果は得られなかった。 | H21年4月頃 |
| 指標3 | 居住者数 | 人 | 1,909 | H15 | 2,500 | H20 | | 2,260 | △ | あり なし | 土地区画整理事業や下水道事業の進捗により人口も着実に増加しているが、宅地の供給と、実際に土地利用されるまでの若干の時間のずれもあり、未利用地となっていることが目標未達成の一因と考えられる。 | H21年4月頃 | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | その他の数値指標1 | 道風の書臨書展への応募数 | 件 | 1,294 | H15 | | | | 2,546 | | | 道風記念館で開催するイベントである臨書展を当初市内を中心としたPRであったものを、全国展開することによりその応募数も従前値を大きく上回った。 | |
| その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | なし | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | | | | 実施内容 | | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | |
| | モニタリング | 実施なし | | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | | | |
| | | | | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | 公園等の整備について、地域住民によるワークショップを行うことにより住民主体のまちづくりを実践する。 | | | | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | |
| | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | ● | | | | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | 公園・緑道等の維持管理について、ワークショップで提案を行い住民主体の運営を行う。 | | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | ● | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● | | | |

様式2-2 地区の概要

松河戸地区(愛知県春日井市) まちづくり交付金の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|---|------------|-----------------------|------------|------------|
| 大目標 地域の人々が集い交流する、書道を生かしたまちづくり 目標1 歴史性を生かした文化拠点として地区の役割を高め、交通の利便性を活かして地域交流の活性化を図る。 目標2 歴史と文化の香る景観と地区計画による良好な住環境の提供により、住宅着工促進を図る。 目標3 市民参加による緑のネットワーク整備で、環境と景観の質的向上を高め人口定着を図る。 | 道風記念館来館者数 | 単位:人/5年 53,679 H15 | 60,000 H20 | 45,759 H20 |
| | 新規住宅着工件数 | 単位:戸/5年 214 H15 | 230 H20 | 204 H20 |
| | 居住者数 | 単位:人 1,909 H15 | 2,500 H20 | 2,260 H20 |
| | | 単位: H | H | H |
| | | 単位: H | H | H |

松河戸土地区画整理事業(基幹:土地区画整理事業)

堤越公園(基幹:公園)

ワークショップ(提案)

段下公園(基幹:公園)

松河戸土地区画整理事業(関連)

下水道事業(関連)

都市公園事業:松河戸緑道(関連)

松河戸土地区画整理事業(関連)

書による地域交流啓発事業(提案)

| | |
|---------------------|---|
| まちの課題の変化 | <ul style="list-style-type: none"> 道風記念館主催の展示会の全国展開により、出品者数が大幅に増加した。 地区内の土地区画整理事業の進捗に伴い、道路、公園等の基盤整備が進んだ。 地区内の公園づくりワークショップの実施により、まちづくりを通じた地域住民のコミュニティが醸成された。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> 「書のまち春日井」の発信拠点としての一層のPRの場を確保する。 書に親しむための新規イベント等の企画、開催の検討が必要である。 来館者の利便性向上のための整備が必要である。 地区内の土地区画整理事業の進捗が予定より遅れており、移転交渉を精力的に行うことで事業の進捗を図る。 土地区画整理による道路整備にあわせ、遅滞なく下水道整備を行っていく必要がある。 地区内には未整備の公園が3箇所残っており、住民参加によるワークショップにより整備方針の検討が必要である。 地区内の住民の交流を図る機会を設けていく。 |